

答案は志望校へのラブレター、あるいは論理的に考えるということ

教頭 鶴田 和光

君たちは好きな人にラブレターを書いたことがありますか。私はあります。うまくいかなかったけど。

大学入試の季節になりました。共通テストが終わり、次は2次試験(記述試験)です。解答用紙には君の志望校への熱い思いをぶつけよう。採点者に君の熱い思いを届けよう。答案は志望校へのラブレターです。空欄なんてありません。(「私のことをそれほど思ってくれていないのね」と思われちゃうぞ)せっかく書くなら、がむしゃらな思いのままではなく、理路整然と、相手がどう受け取るかを考えて書きたい。自分の思いを正しく受け取ってもらえるように。

わたしは帽子屋さんです。カバンの中に赤い帽子を3つと白い帽子を2つもっています。

太郎さんと花子さんとあなた(これを読んでいるあなたです)の3人のところにやってきました。3人が目をつぶっている間にカバンから3つの帽子を取り出して3人にかぶせます。目をあけると3人とも自分の帽子は見えませんが、あとの2人の帽子は見えます。

帽子をかぶせました。あなたが目をあけると、太郎さんの帽子は白で花子さんの帽子は赤でした。

「あなたの帽子は何色ですか？」わかりませんよね。

次に花子さんに「花子さんの帽子は何色ですか？」ときいたところ、「赤です」と答えました。

あらためてききます。「あなたの帽子は何色ですか?」「白です」

その通り、白です。でも、どうして白だと言えるのでしょうか。ちゃんと説明できますか?

帽子をとりかえます。あなたが目をあけると、太郎さんの帽子も花子さんの帽子も赤でした。

まず太郎さんにききました。「太郎さんの帽子は何色ですか?」「わかりません」

次に花子さんにききました。「花子さんの帽子は何色ですか」「赤です」

「では、あなたの帽子は何色ですか?」(一人で考えてわかったら、すばらしいです)

先日、西高に「Pepper(ペッパーくん)」がやってきました。君たちが遊びに来てくれるのを進路指導室で待っています。AI が日々進化し、日常生活で多く使われるようになりました。君たちも触れる機会が増えてくることでしょう。とくに生成 AI は、人間の能力を補助、拡張し、可能性を広げてくれるものです。しかし、その出力はあくまで参考の一つであり、リスクを踏まえつつ、最後は人間が判断して責任を持つことが重要です。責任ある判断をするために、論理的な文章を正しく読み取ること、論理的に正しい文章を書くこと、論理的に考えることがますます求められる時代がやってきます。

令和7年(2025 年)がスタートしました。西高がさらに進化し、西高生がさらに輝く1年になりますように。

[参考文献『赤いぼうし 美しい数学5』野崎昭弘 文・安野光雅 絵(童話屋、1984)]

大学入学共通テスト (キャリア支援部主任:植島)

59回生222名が、1月18日(土)と19日(日)に長崎県立大学佐世保校で、大学入試の第一関門である大学入学共通テストを受験しました。今年度も学年問わず、多くの先生現地に駆けつけてもらいました。生徒たちは、駆けつけてくださった先生方の応援を受けながら会場入りしました。大学構内では、参考書で最後まで余念なく確認をしたり、リラックスするために談笑したりする姿が見られ、時間がくると担任の先生方に見送られて、受験場となる各教室へ移動しました。

今年度より共通テストは新課程に対応したものとなりました。日本史・世界史には「歴史総合」という科目横断型の出題が加わり、国語は試験時間が10分延長され新たな大問が入り、数学②には数 C の範囲(これまでは理系のみが学習していた内容)が含まれ、さらには最終日に新教科「情報」が入るとい、これまでに比べ中身も時間も大幅に増加したものとなりました。生徒たちの負担も相当なものだったと感じます。それでも次の試験科目に向け、休憩時間も懸命に復習に取り組む姿が随所に見られました。

試験終了後は相浦コミュニティーセンターで学年集会を行い、その後の動きの確認を行いました。20日に自己採点、21日から特別編成授業の開始、25日(土)～27日(月)は三者面談、戦いはまだまだ始まったばかりです。最後まで、ともに頑張りましょう59回生。



2月行事予定

1	(土)	小論文模試(3年)
3	(月)	後期期末考査(1・2年、～2/6)
7	(金)	考査レビュー日(1・2年自学)
8	(土)	ハイレベル模試(1年)、対外マーク模試(2年、～2/9)、特別講座(3年)
10	(月)	考査返却特別時間割(1・2年)
11	(火)	建国記念の日
15	(土)	特別講座(3年)
18	(火)	高校入試前期選抜(生徒は20日まで自宅学習)
22	(土)	特別講座(3年)
23	(日)	天皇誕生日、特別講座(3年)
24	(月)	振替休日
25	(火)	代休(3/1の分)、国公立大学前期試験(3年)
26	(水)	木曜日の授業、県内企業説明会(1年)
27	(木)	水曜日の授業、卒業式式場設営・自学(午後、1・2年)
28	(金)	卒業式予行、同窓会入会式
3/1	(土)	第59回卒業証書授与式(10時～、本校アリーナ)

研修旅行報告 (2学年主任:萩原)

12月9日(月)～12日(木)の4日間の日程で東京都内を中心とした国内研修旅行を実施しました。1日目に予定していた国会議事堂見学が、衆議院、参議院ともに議会が行われることになり、見学先が日本科学未来館に変更となりましたが、天候にも恵まれ、参加者全員が無事に4日間の研修を終えることができました。4日間の中で自主研修など班別活動を行うために、事前準備として10月から班編成や自主研修計画の立案など有意義な活動になるように学年で取り組んできました。

1日目…学校から長崎空港に移動し羽田空港を目指しました。東京到着後は、日本科学未来館へ赴き、最先端の技術や科学の発展の歴史、近未来の展望を知ることができました。その後、日の出桟橋から浅草まで水上バスに乗り、橋の下を船でくぐりながら40分ほど隅田川からの東京の街並を楽しみました。

2日目…朝から班に分かれて自主研修を行いました。事前に計画したコースを自分たちで電車やバスに乗って移動しながら、終日東京都内で研修しました。朝の満員電車や渋谷、原宿の人混みなど、佐世保では経験することができないことも学ぶことができました。

3日目…午前中、班に分かれて企業訪問を行いました。株式会社ニッポン、キャノン IT ソリューションズ株式会社など10社に分かれて、企業の「SDGs」に関する取組を学ぶことができました。その後「キャリアアップセミナー」を受講し、ディズニーランドで働く人達がどのようにしてお客さんをもてなし、働いているのか学びました。午後からはディズニーランドに移動して、夜まで夢の世界をそれぞれが楽しんでいました。

4日目…朝から浅草に移動し、浅草演芸ホールで芸能鑑賞をしました。落語や紙切りを目の当たりにし、その職人芸に感動した生徒も大勢いたようです。また、漫才では、午前中にもかかわらず、大きな笑いに包まれていました。その後、浅草寺周辺を散策し、午後には羽田空港に移動して帰路に着きました。

最終日、浅草演芸ホールで行った本研修旅行解団式での生徒代表挨拶(2-4大石くん)を一部紹介します。

「…私は、今回の研修で感じたことが2つあります。まず1つ目は、私たちは、自立できる人から自律できる人になることを目指さなければならないと感じました。これは、3日目のキャリアアップセミナーの講師の方が話してくれた内容なのですが、私たちは現在、言われたことや、与えられたことはできる状態だと思います。それはまだ『自立』の段階です。これからは、自分のため、人のため、集団のために、今自分がどのように行動するべきか、何をすべきかを考え、『自律』できる人になるべきだと感じました。2つ目は感謝です。今回の研修旅行は当たり前のことではないということです。この研修を準備してくれた先生方や、添乗員の方々、研修先で対応してくださった方々、そして家族が支えてくれたからこそ経験できた研修だと思っています。そのことを忘れてはいけないと思います。生徒の皆さん、全員でお礼を言いましょ。全員立ってください。私が号令をかけますので、全員でお礼の気持ちを込めて『ありがとうございました』と言いましょ。…」

生徒代表挨拶を聞いたとき、胸が熱くなり、込み上げる涙をこらえました。生徒が成長している姿を目の当たりにし、今回の研修旅行が私にとっても忘れることのない思い出となりました。



【ディズニーランド研修にて】

【都内班別自主研修にて】



部活動の結果報告

<陸上部>

○第73回小柳賞佐世保シティーロードレース大会

10km一般・高校女子の部 第2位 山内祐奈(2年)

第3位 中島由乃(2年)

3km一般・高校女子の部 第3位 福田実和(1年)



<弓道部>

○第29回佐世保市長杯弓道大会

男子個人 優勝 野口大輔(2年)



<吹奏楽部>

○第51回長崎県アンサンブルコンテスト

SAX 三重奏 金賞 田尻光雪(2年)、前田歩実(2年)、近藤好恵(1年)

○JBA九州ソロコンテスト予選第13回JBA長崎県ソロコンテスト

管楽器部門 金賞 橋本七海(3年)

